

計画の名称	人にやさしい安全で安心な交通環境の整備		
計画の期間	平成21年度～平成25年度(5年間)		
計画の目標	安全で快適な歩行者・自転車空間の整備や、道路のバリアフリー化、電線類地中化の推進により、交通事故の少ない安全で安心して通行できる道路空間の確保及び諸交通の円滑化を図るものである。		
計画の成果目標(定量的指標)	広島市内の事故発生件数を低減させる。		
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		備考
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)
市内の交通事故発生件数の低減率 (市内の交通事故低減率) = $\{1 - (H25年度の交通事故件数 / H20年度の交通事故件数)\} \times 100$	0%	12%	20%

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H21	201 百万円	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基幹事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・(主)東海田広島線(城北通り2工区) 電線類地中化(L=500.0m)を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(市)中1区鷹野橋字品線(鷹野橋) 電線類地中化(L=800.0m)を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(主)広島中島線(深川) 歩道(L=172.0m)の設置を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(主)広島三次線(白木) 歩道(L=479.0m)の設置を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(主)広島豊平線(久地) 歩道(L=176.0m)の設置を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(一)府中祇園線(戸坂大上) 歩道(L=176.0m)の設置を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(市)佐伯4区寿老地中地線外2路線 歩道(L=270.0m)の設置を計画し、計画どおり実施した。</li> </ul> </li> <li>●その他関連する事業(防災・安全社会資本整備交付金事業へ移行)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・(市)中1区駅前吉島線(駅前通り) 電線類地中化(L=600.0m)を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(市)中3区中広字品線(城南通り) 電線類地中化(L=400.0m)を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(市)中2区中島吉島線(吉島通り) 電線類地中化(L=1,200.0m)を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(市)中2区吉島観音線外1路線(吉島) 電線類地中化(L=900.0m)を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(市)南4区中広字品線(翠町) 電線類地中化(L=2,600.0m)を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(市)西1区駅前観音線(中広通り3工区) 電線類地中化(L=600.0m)を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(主)広島中島線(福田) 自歩道設置(L=127.0m)を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(主)広島中島線(馬木) 歩道設置(L=151.0m)を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(主)広島中島線(温品) 歩道設置(L=1,187.0m)を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(主)広島中島線(小河原) 歩道設置(L=240.0m)を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(国)2号(海老園) 自歩道設置(L=100.0m)を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(国)2号(旭園) 自歩道設置(L=350.0m)を計画したが、地権者との用地交渉の難航等により、事業着手できなかった。</li> <li>・(国)433号(伏谷) 歩道(L=130.0m)の設置を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(主)東広島白木線(小越) 歩道(L=310.0m)の設置を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(一)五日市停車場線(五日市駅周辺) 歩道(L=250.0m)の設置を計画し、事業進捗を図った。</li> <li>・(市)東5区6号線 歩道(L=700.0m)の設置を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(市)中1区比治山庚午線 駐輪場整備を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(国)191号 歩道設置(L=300.0m)を計画したが、地権者との用地交渉の難航等により、事業着手できなかった。</li> <li>・(市)西5区107号線 歩道改良(L=300.0m)を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(主)矢野安浦線 歩道設置(L=100.0m)を計画したが、地権者との用地交渉の難航等により、事業着手できなかった。</li> <li>・(市)東5区56号線(光町) 歩道設置(L=100.0m)を計画したが、地権者との用地交渉の難航等により、事業着手できなかった。</li> <li>・(主)広島豊平線(大町) 歩道設置(L=250.0m)を計画したが、地権者との用地交渉の難航等により、事業着手できなかった。</li> <li>・(国)433号ほか 道路ストック総点検(照明・標識・情報提供装置)を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(一)瀬野呉線ほか 道路ストック総点検(照明・標識・情報提供装置)を計画し、計画どおり実施した。</li> <li>・(市)中2区中島吉島線ほか 道路ストック総点検(照明・標識・情報提供装置)を計画し、計画どおり実施した。</li> </ul> </li> </ul>
	H22	484 百万円	
	H23	304 百万円	
	H24	183 百万円	
	H25	353 百万円	
	合計	1,525 百万円	

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の  
効果の発現状況

- 基幹事業
  - ・(主) 東海田広島線 (城北通り2工区)  
電線類地中化を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(市) 中1区鷹野橋宇品線 (鷹野橋)  
電線類地中化を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(主) 広島中島線 (深川)  
歩道設置を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(主) 広島三次線 (白木)  
歩道設置を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(主) 広島豊平線 (久地)  
歩道設置を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(市) 佐伯4区寿老地中地線外2路線  
歩道設置を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
- その他関連する事業
  - ・(市) 中1区駅前吉島線 (駅前通り)  
電線類地中化を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(市) 中3区中広宇品線 (城南通り)  
電線類地中化を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(市) 中2区中島吉島線 (吉島通り)  
電線類地中化を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(市) 中2区吉島観音線外1路線 (吉島)  
電線類地中化を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(市) 南4区中広宇品線 (翠町)  
電線類地中化を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(市) 西1区駅前観音線 (中広通り3工区)  
電線類地中化を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(主) 広島中島線 (福田)  
自歩道設置を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(主) 広島中島線 (馬木)  
歩道設置を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(主) 広島中島線 (温品)  
歩道設置を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(主) 広島中島線 (小河原)  
歩道設置を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(国) 2号 (海老園)  
自歩道設置を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(国) 433号 (伏谷)  
歩道設置を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(主) 東広島白木線 (小越)  
歩道設置を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(一) 五日市停車場線 (五日市駅周辺)  
歩道設置を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(市) 東5区6号線  
歩道設置を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(市) 中1区比治山庚午線  
駐輪場整備を行い、諸交通の円滑化を図った。
  - ・(市) 西5区107号線  
歩道改良を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(国) 433号ほか  
道路附属物等点検を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(一) 瀬野呉線ほか  
道路附属物等点検を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。
  - ・(市) 中2区中島吉島線ほか  
道路附属物等点検を行い、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図った。

指標：  $\{1 - (H25年度の交通事故件数) / (H20年度の交通事故件数)\} \times 100$

目標値の実現状況

中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)	目標値と実績値に差が出た要因
12%	20%	成果目標の達成状況：目標達成
中間実績値 (H23末)	最終実績値 (H25末)	
16%	22%	

要素事業に併せて実施した他事業の効果の発現状況、及び本計画以外に設定した目標値の実現状況

## 3. 今後の方針

未整備、未完成の要素事業については、防災・安全社会資本整備交付金事業へ移行し、今後も引き続き整備を推進し、安全で安心して通行できる道路空間の確保を図る。

## 4. その他特記事項